LIXIL

保証書付
（裏表紙）
定期点検情報掲載

キッチン用ハンズフリー水栓

SF-NB481SX型

左記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番ラベルをご確認ください。品番ラベルの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

●工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

商品概要……1-2
安全上のご注意……3-8
各部の名称……9

ご使用前に……10-11
ご使用方法……12-21
停電および故障時の応急処置……18
凍結の恐れがある場合……20

日常のお手入れ……22
定期的なお手入れ……23-26

修理を依頼される前に……27-30
アフターサービスについて……31

仕様……32
保証書……裏表紙

商品概要

自動センサー

吐水口に手などを差し出している間のみ吐水します。
出し止めの操作が不要で、出しっぱなしを防ぐことができるため、ラクに節水できます。
※自動センサーを使いたくない時は、「自動センサー ON/OFF スイッチ」で切替できます。
※流量・温度の調節はレバーハンドルで行います。
●「自動センサーを使う」（☞12 ページ）を参照する。

タッチレスセンサー

センサーに手をかざすだけで、吐水・止水が簡単にできます。
しかも、水栓に触れずに吐水・止水できるのでとても衛生的です。
※流量・温度の調節はレバーハンドルで行います。
●「タッチレスセンサーを使う」（☞14 ページ）を参照する。

ハンドシャワー引き出し機能

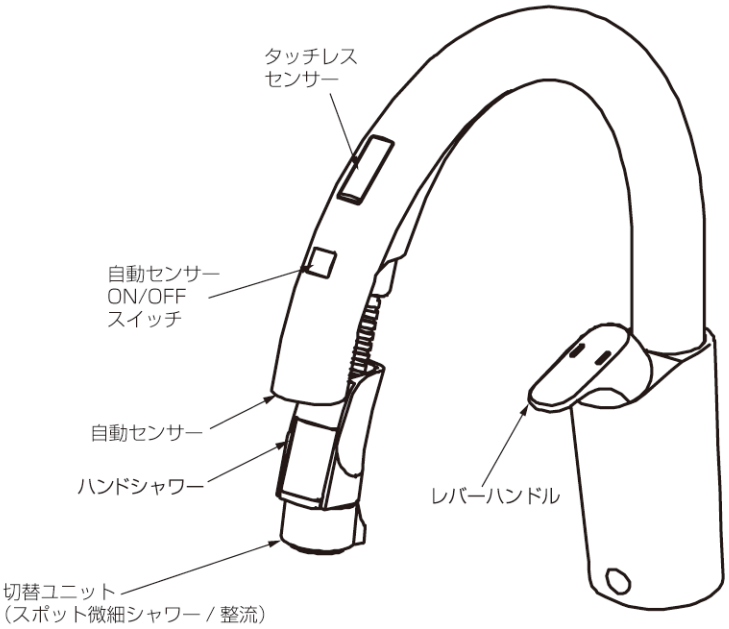
ハンドシャワーを引き出すことができるので、シンクの掃除もラクラク。
●「ハンドシャワーを使う」（☞17ページ）を参照する。

シャワーの切替

吐水口先端で、スポット微細シャワーと整流を切り替えることができます。
●「シャワーを切り替える」（☞16ページ）を参照する。

注 意

新しく水栓をお使いになる前に、必ず『安全上のご注意』をお読みください。



※品番によっては、図と現品の
形状が一部異なります。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。
  いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 …… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

…… 「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

(禁止) …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

(分解禁止) …… 「分解してはいけません！」

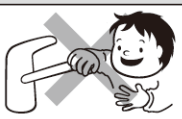
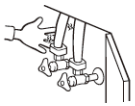
(水場禁止) …… 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

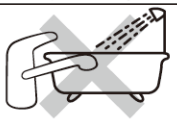
(接触禁止) …… 「指示した場所に触れてはいけません！」

(指示) …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動禁止記号です。）

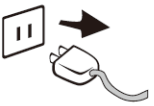
(プラグ抜く) …… 「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

⚠ 警 告：ヤケドをしないために

(禁止)	**小さいお子さまだけでのご使用は避けてください。** ※ヤケドやケガをする恐れがあります。	
(禁止)	**他所の水栓と同時使用しないでください。** ※同時使用すると圧力変動により湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。	
(禁止)	**給湯機器の温度設定は85℃以上で使用しないでください。** ※水栓が破損し、ヤケドや家財などを濡らす恐れがあります。なお、誤作動などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。	
(禁止)	**高温吐水時には、シャワー/整流の切替をしないでください。** ※ヤケドをする恐れがあります。	
(接触禁止)	**高温の湯をお使いのときには、シャワーホースは高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。** ※ヤケドをする恐れがあります。	
(禁止)	**高温止水機能による止水後に解除させて吐水するときは、最初に出る湯に触れないように注意してください。** ※配管内に溜まった高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
(指示)	**お使いになる前に必ず適温であることを確かめてください。** ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	
(指示)	**お湯をお使いになるときには、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。** ※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。	
(指示)	**高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。** ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。	
(指示)	**定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。** ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

⚠ 警 告：発火、感電防止のために		
(禁止)	**トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、トイレ用ウェットティッシュ、クレンザー、クレゾールを使用しないでください。** ※発火、ショート、感電、故障の原因になります。	
(禁止)	**水につけたり、水をかけないでください。** ※発火、ショート、感電、故障の原因になります。	
(禁止)	**電源プラグを濡れた手で触れないでください。** ※感電の原因になります。	
(禁止)	**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	
(禁止)	**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重い物を乗せたり、挟み込んだりしないでください。** ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因になります。	
(禁止)	**雷が発生しているときは、電源プラグにさわらないでください。** ※感電の原因になります。	
(禁止)	**交流100V（50/60Hz）以外では使用しないでください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	
(禁止)	**タコ足配線はしないでください。** ※発火の原因になります。	
(水場禁止)	**バスルーム等の水がかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。** ※発火、ショート、感電、故障の原因になります。	
(指示)	**電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	

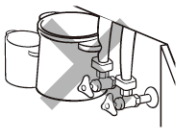
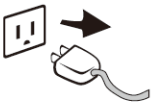
⚠ 警 告：発火、感電防止のために

(指示)	**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。** ※発火、ショート、感電の原因になります。	
(指示)	**電源プラグについたホコリは、取り除いてください。** ※電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。	
(プラグ抜く)	**水栓が故障した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。** ※そのまま使用すると発火、ショート、感電の原因になります。	

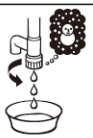
⚠ 注 意：正しくお使いいただくために

(禁止)	**水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。** ※商品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電の原因になります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいいます。	
(禁止)	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因になります。	
(禁止)	**吐水口の先端に止水機能付の浄水器（浄水器で水を出したり止めたりすることのできるもの）等は、取り付けないでください。** ※水栓からの漏水や、給湯器側への逆流の恐れがあります。カートリッジ一体型の浄水器を取り付けると吐水口（パイプ）部のパッキン類が摩耗し耐久性が低下することがあります。あらかじめご了承ください。	
(禁止)	**ハンドスプレー引出し口に直接水をかけないでください。** ※水がキャビネット内に浸入し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(禁止)	**吐水口の先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。**	

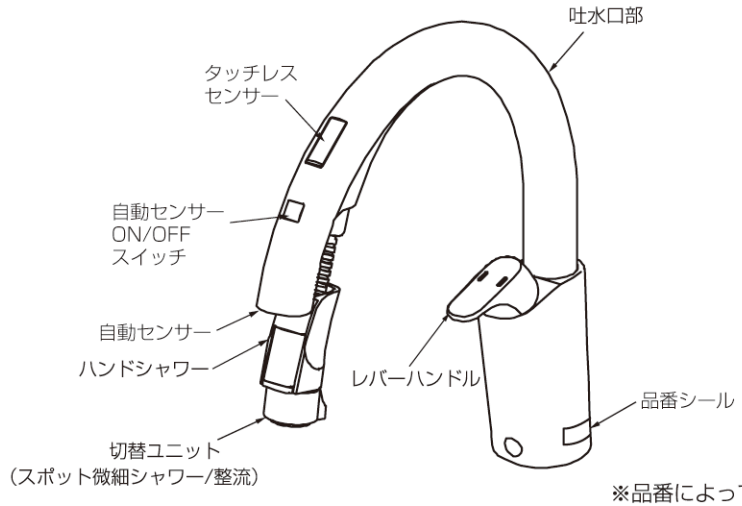
⚠ 注 意 ：正しくお使いいただくために

(指示)	**直射日光が当たる場所での使用はおやめください。** ※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。	
(指示)	**レバーハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こす恐れがありますので、ゆっくり操作してください。** ※漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(指示)	**感知領域内に障害物が入らないようにしてください。** ※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。	
(指示)	**キャビネット内の物を出し入れするとき、給水･給湯ホースに引っ掛けるなど、ホースに無理な力が加わらないようにしてください。** ※給水･給湯ホースの外れや損傷による漏水の原因になります。	
(指示)	**ハンドシャワーを引出しすぎたり、無理な力を加えないでください。** ※シャワーホースが破損し、ケガや漏水により、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(指示)	**メッキ面のハガレはそのまま放置しないでください。** ※メッキ面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。	
(指示)	**ハンドシャワー部に磁石を使用しています。磁石の力は微弱ですが時計等の精密機器や、ペースメーカー等がハンドシャワー上部に直接触れないように注意してください。** ※時計の故障や、ペースメーカーの乱れが生じる恐れがあります。	
(指示)	**使い始めの水は飲用しないでください。** ※長期間水栓内に滞留した水は、飲用に適さない場合があります。	
(プラグ抜く)	**長期間ご使用にならない場合は、レバーハンドルを閉じて電源プラグをコンセントから抜いてください。** ※誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。	

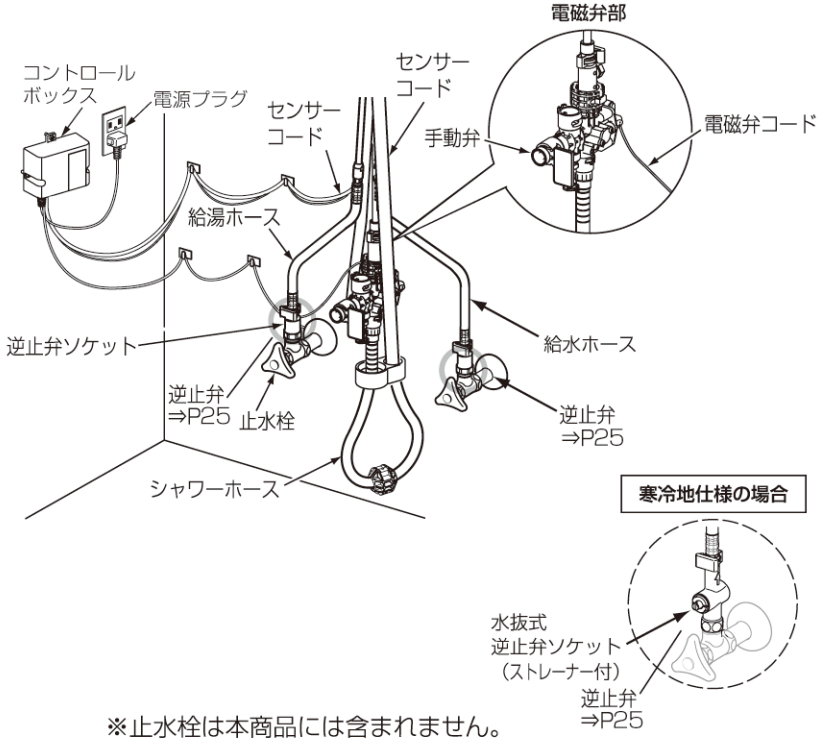
⚠ 注 意：凍結防止のために

(指示)	**【一般地仕様の場合】** **凍結の恐れがあるときは、凍結予防の措置を行ってください。（☞20ページ参照）** ※変形したり故障して、漏水の原因になります。 **【寒冷地仕様の場合】** **配管と水栓の水抜き操作を確実に行ってください。（☞21ページ参照）** ※凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(指示)	**凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。** ※水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因になります。配管部などに保温材を巻いてください。 凍結による破損は保証期間内であっても有料修理になります。	
【寒冷地仕様の場合】		
(禁止)	**凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。** ※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(禁止)	**水抜栓は水抜き以外の目的で開けないでください。** ※湯水が噴き出し、ヤケドや家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(指示)	**凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。** ※凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	

各部の名称



※品番によっては、図と現品の
形状が一部異なります。



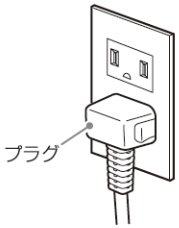
※止水栓は本商品には含まれません。

ご使用前に

確認する

電源

●使用される前に電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていることを確認します。



レバーハンドル

●レバーハンドルが上がっていることを確認します。

ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

●安全のため給湯器は設定温度を60℃以下にしてご使用ください。
※不意に熱い湯が出てヤケドをする恐れがあります。

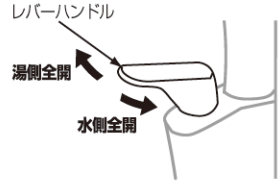
●能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合がありますので注意してください。
（直圧式給湯器の場合）

●給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
（直圧式給湯器の場合）
このときは、給湯器の設定温度（能力切替付は能力）を少し下げて試してください。

流量を調節する

止水栓

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側のスポット微細シャワーの流量が約8L/min（1リットルの容器をいっぱいにするのに約8秒）を超える場合は、止水栓で流量調節します。



ポイント

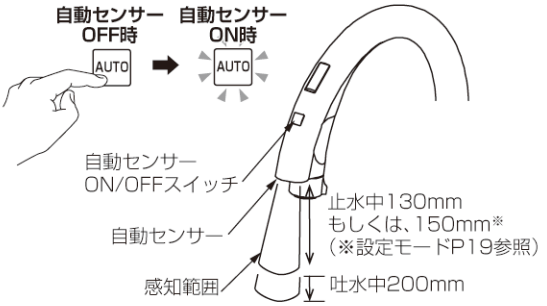
●湯と水の流量が同じになるよう調節してください。

ご使用方法

自動センサーを使う

自動センサーON/OFFスイッチを押し、自動センサーON/OFFスイッチを点灯させます。

吐水口の下に手を差し出すと、自動センサーが感知し吐水します。
手を引くと約1～2秒後に止まります。

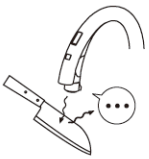


食器洗い時のポイント

包丁やステンレスなどの鏡面物 ガラスなどの透明物

○ 自動センサーに平行になるように差し出します。

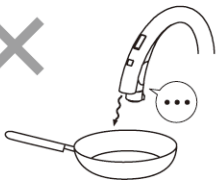
×



黒い材質の物

○ 自動センサーに少し近づけます。

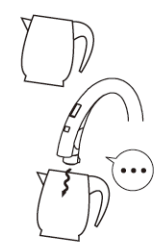
×



鍋やポットなど底が深いもの

○ タッチレスセンサーの使用をおすすめします。

×



熱いお湯を使うとき

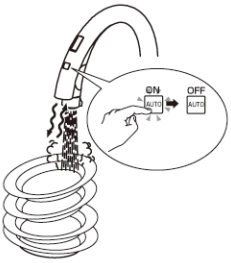
○ タッチレスセンサーの使用をおすすめします。

×

高温止水機能が働きます。（「自動センサーの安全機能」（☞13ページを参照する））

つみ上げ禁止

× お皿等を積み上げると自動センサーが感知することがあります。



お皿を移動するか、自動センサーをOFFにしてください。

吐水口下の留め水や鏡面物による誤検知

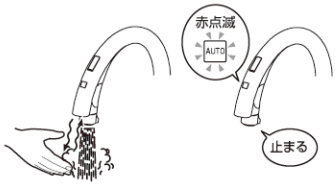
× 感知範囲外でも、留め水や鏡面物に自動センサーが感知することがあります。

吐水口を避けるか、自動センサーをOFFにしてください。

自動センサーの安心機能

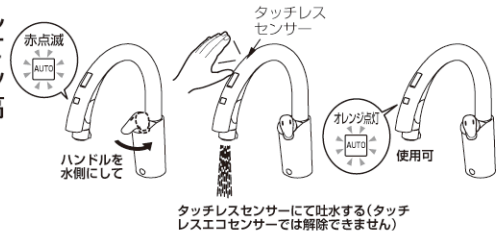
●自動センサー使用時の高温止水機能

安全のため50℃以上のお湯が出ないように設定されています。高温のお湯を吐水すると、自動センサーON/OFFスイッチが赤色点滅し、自動センサーが使えなくなります。高温のお湯をお使いの場合は、タッチレスセンサーをご使用ください。



解除方法

解除するには、レバーハンドルを右に回して、タッチレス湯水センサーで水を流してください。（自動センサーON/OFFスイッチを押すことで、赤点滅は消灯しますが高温止水機能は解除されません。）



ポイント

●高温止水が頻発する場合は、給湯器の給湯温度を42℃以下に設定してください。

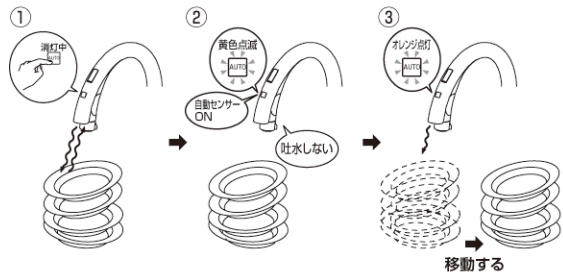
●出しっ放し防止機能

1分間自動センサーでの吐水が続くと自動的に止水します。この時自動センサーON/OFFスイッチが黄色点滅します。再び吐水させたい時は、一度、手や物を感知エリアから移動し、再び差し出します。（自動センサーON/OFFスイッチを押すと黄色点滅は消灯します。）

●自動センサーON時の不意な吐水防止機能

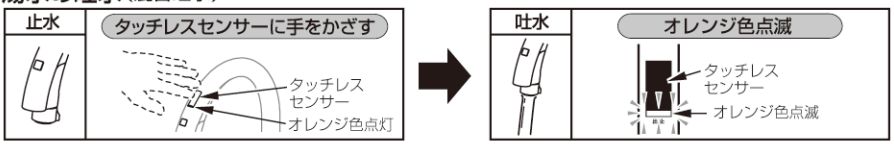
①自動センサーON/OFFスイッチ消灯時や、感知範囲内に物がある状態で、自動センサーON/OFFスイッチをONにした場合②自動センサーON/OFFスイッチは黄色点滅し、吐水されません。③感知エリア内の物を移動してから、使用してください。（タッチレスセンサーは使用できます。）

※感知範囲外でも鏡面物や溜め水で反応することがあります。

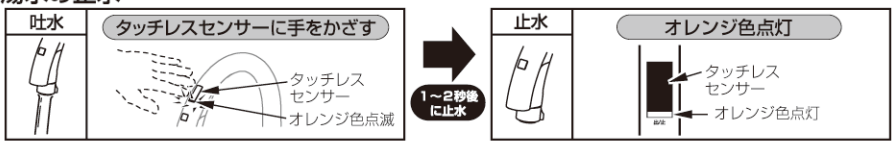


タッチレスセンサーを使う

●湯水の吐水（混合吐水）



●湯水の止水



※止め忘れた場合でも、10分間吐水後に自動的に止水します。
※センサーは黒っぽい色には反応しない場合があります。

ポイント

- オレンジ色が点滅しているにもかかわらず水が出ない場合は、レバーハンドルが閉じていないか、または止水栓が閉じていないか確認してください。
- オレンジ色点灯が消えている場合は、電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。

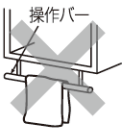
注 意

●**感知エリアに障害物がないようにしてください。**
※誤感知の原因になります。

●**昇降キャビネットが降りた時にセンサーが感知する場合、吐水口部を回してからキャビネットを降ろしてください。**
※吐水口部をシンク外に飛び出さないように納めてください。

●**ご使用前に適温であることを確かめてください。**
※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。

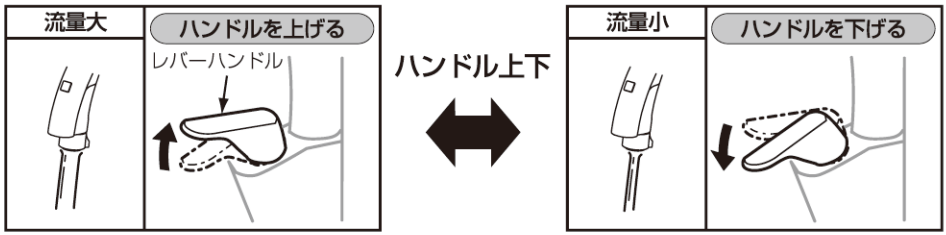
●**感知エリア内の昇降キャビネットの操作バーにタオルなどを掛けないでください。**



レバーハンドルで湯水を調節する

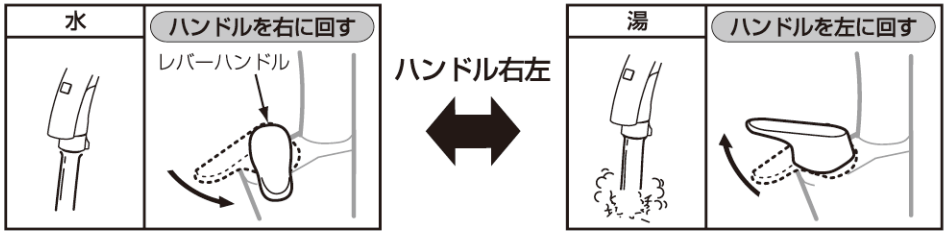
タッチレスセンサーと自動センサーで吐水する湯水の流量の調節をレバーハンドルで行います。

流量



※レバーハンドルは左右どの位置でも同様に流量を調節できます。
※長期間使用しない場合は、レバーハンドルを閉じてください。

温度



※湯をお使いの場合は、安全のために、まず水を出してからハンドルを回して温度を調節してください。

注 意

●高温の湯をお使いの後は、必ずレバーハンドルを水側に戻し、しばらく水を流してください。

※次に使うといきなり高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。

●レバーハンドルを急に回すと温度が急上昇することがありますので、ゆっくりと回してください。

※ヤケドをする恐れがあります。

シャワーを切り替える

切替レバーを右に回すとスポット微細シャワー、左に回すと整流に切り替わります。

ポイント

- 切替レバーをシャワー位置に切り替える際、操作が重く感じることがありますが、構造上パッキンをつぶすための抵抗感であり、不具合ではありません。
  ※整流位置に切り替える際は、抵抗感はありません。整流の切り替え、シャワーの切り替えは、抵抗感が異なります。

注 意

レバーは確実にシャワー位置、もしくは整流位置に切り替えてください。

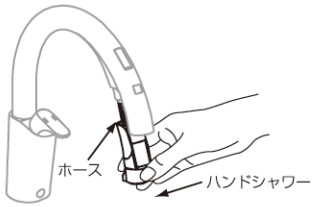
※中間位置で止めると水が飛びはね、衣服が濡れる可能性があります。

ポイント

切り替えの際は、自動センサーが反応しないように、手を後方から回してください。自動センサーON/OFFスイッチを切ると不意な吐水の心配がありません。

ハンドシャワーを使う

ハンドシャワーは引き出して使用することができます。
皿洗いやシンク洗いのときに便利です。



ポイント

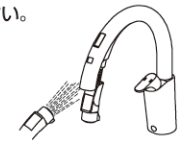
●ハンドシャワーの出し入れがしにくいときは、シャワーホースに手をそえて収納する。
●寒い時期、ハンドシャワーの出し入れが固いときは、しばらくの間、ホースにお湯または水を通水する。

注 意

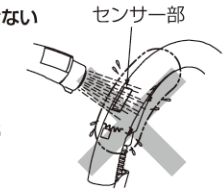
●高温の湯をお使いのときはホースは高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。

●吐水口部を回しすぎないでください。
※シンクの外に吐水が飛び出す場合があります。

●ハンドシャワー引出口やレバーハンドル周辺に直接水をかけないでください。
※キャビネット内に、水が侵入する恐れがあります。



●センサー部に直接水をかけないでください。
※誤作動や故障の原因になります。また、キャビネット内に水が浸入する場合があります。

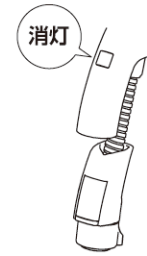


注 意

ハンドシャワーには磁石を使用しています。磁石の力は微弱ですが、鉄製の小物等は、吸着する場合があります。また時計等の精密機器やペースメーカー等がハンドシャワー上部に直接触れないようご注意ください。
※時計の故障やペースメーカーの乱れが生じる恐れがあります。

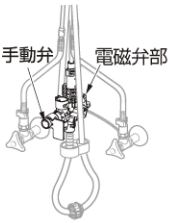
ポイント

ハンドシャワー引出し時は、自動センサーが使用できません。ハンドシャワーを元に戻してから、約 1 秒後に自動センサーが使用できるようになります。



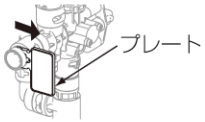
停電および故障時の応急処置

停電時や万が一の故障時には、復帰するまでの応急処置として電磁弁部の手動弁を開けることで、センサーに関係なくレバーハンドルのみで吐水・止水ができます。
（停電時は、エコセンサーでの吐水（水専用吐水）は使用できません。）



非 常 時

① プレートを取り外し、

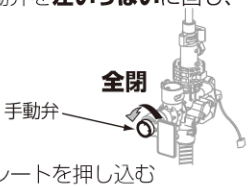


② 手動弁を**右いっぱい**に回す

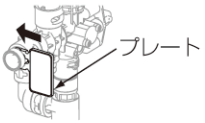
手動弁
開閉

正 常 時

① 手動弁を**左いっぱい**に回し、



② プレートを押し込む



※正常時には必ずタグを取り付けてください。

ポイント

●手動弁は非常時のみ開けてください。
復帰後は、確実に閉めてご使用ください。

注 意

高温の湯をお使いの直後は手動弁が熱くなっている場合があります。操作する際は十分注意してください。
※手動弁は、工具を使わず手でゆっくり回してください。

故障時には、レバーハンドルまたは止水栓を閉じ、コンセントから電源プラグを抜き、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。
TEL 0120-179-411 FAX 0120-179-456

設定モード

●設定モードでは自動センサーの感知距離を変更できます。

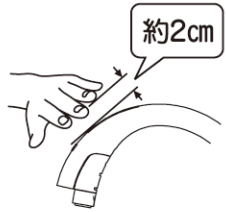
機　能	モード
自動センサーの感知距離	通常／ロング

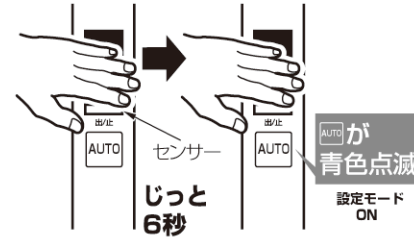
1 設定モードに入る。

タッチレスセンサーから約2cm離して手をかざし続ける。

※手をかざし続けて約3秒で止水し、約6秒たつと設定モードに入ります。

※設定モードになると自動センサーON/OFFスイッチが青色点滅になります。





ポイント

●設定モードのときに30秒間センサーへの操作を行わないと、通常の状態に戻ります。

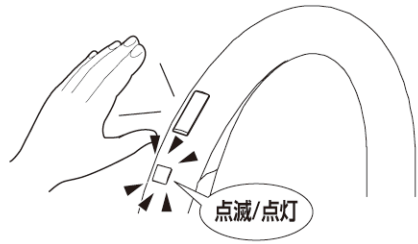
●設定モード中はセンサーの操作をしても水の出/止などができません。

●不意に設定モードになった場合は、30秒間センサーへの操作を行わないでください。

2 モードを切り替える。

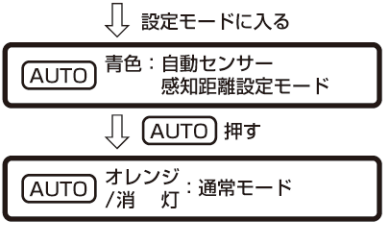
設定モードで、タッチレスセンサーに手をかざすと、モードが切り替わります。

AUTO	機　能	AUTO スイッチ状態
青　色	自動センサー感知距離設定モード	通　常（130mm）：点滅（出荷時） ロング（150mm）：点灯



3 モードを決定する。

モード選択後自動センサーON/OFFスイッチを押すと、決定し通常モードに戻ります。



凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理になりますので、ご注意ください。

凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

●水栓から少量の水を流し放しにする。
●配管などに保温材を巻く。

寒冷地仕様の場合

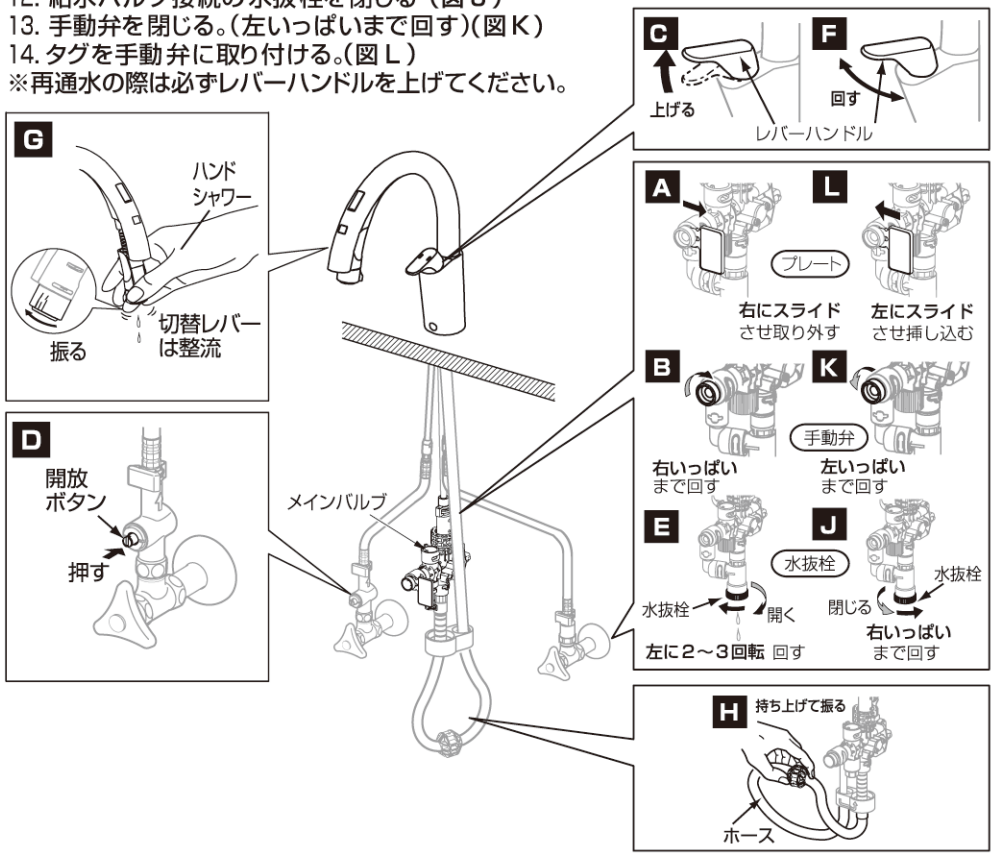
凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1．配管の水抜栓を操作する。
2．プレートを取り外す。(図Ａ)
3．手動弁を開ける。(右いっぱいまで回す)(図Ｂ)
4．レバーハンドルを上げる。(図Ｃ)
5．逆止弁ソケットの開放ボタン(２ヶ所)を押す。(図Ｄ)
6．給水バルブ接続の水抜栓を開ける。(図Ｅ)
※洗面器等で排出される水を受けてください。

キッチンくるりんと接続の場合

キッチンくるりん(KS-800)に同梱の取扱説明書に従い、キッチンくるりんも水抜きを行ってください。

7．レバーハンドルを全開状 態で数回、水側 から湯側まで回す。(図Ｆ)
8．シャワーホースを引き出し、切替レバーを整流にし、ハンドシャワーを振って水をよくきる。(図Ｇ)
9．シャワーホースを吐水口に戻し、ホースを振ってホース内に残った水を抜く。(図Ｈ)
10. 給水チューブを振って、ホース内に残った水を抜く。(図Ｉ)
11. 水栓の水が抜けたらレバーハンドルを下げる。
12. 給水バルブ接続の水抜栓を閉じる（図Ｊ)
13. 手動弁を閉じる。(左いっぱいまで回す)(図Ｋ)
14. タグを手動弁に取り付ける。(図Ｌ)
※再通水の際は必ずレバーハンドルを上げてください。



日常のお手入れ

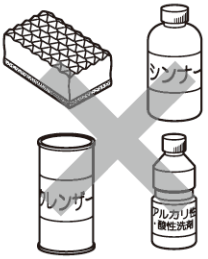
いつまでもご愛用いただくために、普段のお手入れは次のことに注意してください。

●水栓やセンサーの表面の汚れは柔らかい布でふきとります。汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤を含ませた布でふきとり、そのあと洗剤が残らないように水ぶきします。

ポイント

水栓やセンサーの表面に付いた汚れや洗剤はよくふきとってください。
※とくにセンサー部に汚れや洗剤が付いたままだと誤作動等の原因になります。

●水栓やセンサーの表面を傷つけたり、侵したりする恐れのあるものは使用しないでください。

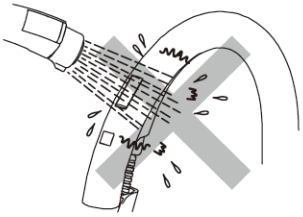


・クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
・シンナー、ベンジン等の溶剤
・酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
・ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシ等
※センサーに傷がつくと正常に作動しなくなる可能性があります。

注 意

●お手入れの際にセンサーに直接水をかけないでください。

※誤作動や故障の原因になります。



●センサー部にふきんを掛けたり、重いものを載せたりしないようにしてください。

※誤作動や破損の原因になります。

定期的なお手入れ

掃除する

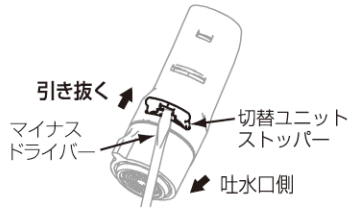
吐水口

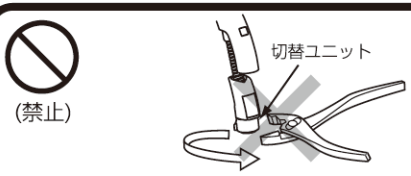
吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除をしてください。

※不意に吐水しないように、レバーハンドルを閉じてから作業を行ってください。

1 ハンドシャワーを引き出す。

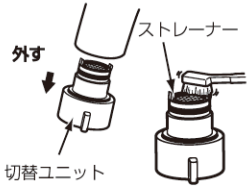
2 裏側にある切替ユニットストッパーの溝部にマイナスドライバーなどを掛けて引き抜く。





●切替ユニットを工具等で回さないでください。
※破損の原因となります。

3 切替ユニットを外して、ストレーナーに付いたゴミを歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とす。



ポイント

ハンドシャワー内部にゴミが付着している場合は取り除く。
※ハンドシャワーに磁石が入っているため、金属製のゴミ等が付着する場合があります。

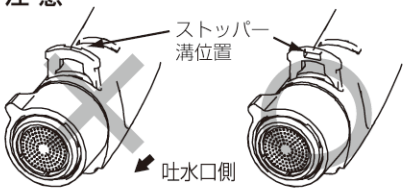
4 切替ユニットを取り付け、切替ユニットストッパーをはめる。

ポイント

●取り付けるときは、位置合わせの向きを合わせるように差し込む。

注 意

●切替ユニットストッパーを取り付けるときは、溝が吐水口側になるようにしてください。



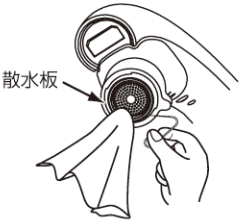
確 認

●取り付け後は切替ユニットが抜けてこないことを確認してください。

お手入れ

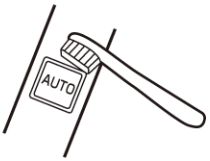
散水板

散水板が汚れていると、水の流れが乱れたり、水切れが悪くなってしまいます。日頃から、散水板の表面を水ぶきしてください。また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐水量が少なくなります。年に1回程度、散水板の穴を安全ピンなどで刺して、目詰まりを取ってください。



自動センサーON/OFFスイッチ

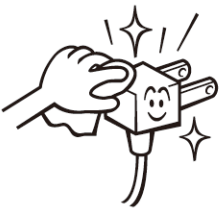
自動センサーON/OFFスイッチに汚れが溜まると、スイッチ操作が重くなる場合があります。重くなった場合はスイッチのまわりを、歯ブラシ等で軽くこすってください。



電源プラグ（月１回以上）

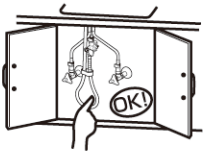
電源プラグについたホコリを取り除いてください。

●電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



水まわりの水漏れ（年2回以上）

●水まわりの水漏れがないか点検してください。
●見えない部分は特に注意が必要です。
（洗面台･キッチンキャビネット内）
※劣化･摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め（☞P10参照）、お求めの取付店･販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



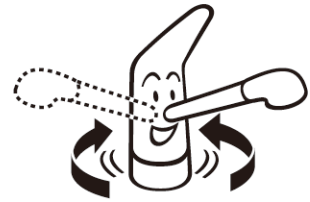
水栓本体のガタツキ（年2回以上）

●水栓本体のガタツキがないかを確認してください。
※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。
水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取付店･販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

吐水口部の操作性（月1回以上）

●ときどき吐水口部を回してください。

※吐水口部を長時間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。
動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



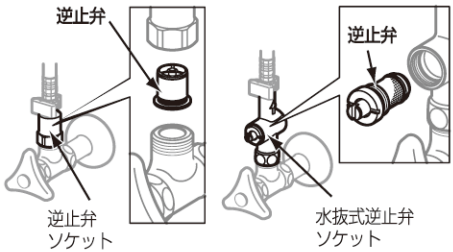
定期的な部品交換のお願い

いつまでもご愛用いただくために、定期的に部品交換をしてください。

※保証期間外の各部品交換は、有料になります。

逆止弁ソケット内にある「逆止弁」（2ヶ所）と、メインバルブ内にある「逆止弁」（1ヶ所）を3～5年ごとに交換してください。

●逆止弁ソケット部分解図



※逆止弁は水側・湯側両方に入っています。

逆止弁の交換時期は、3～5年です。

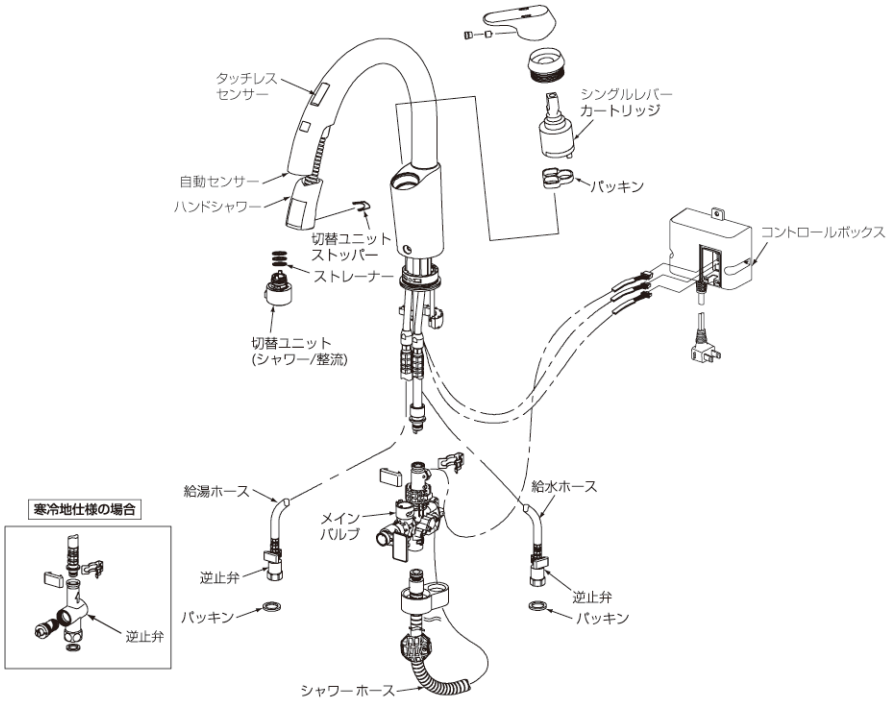
逆止弁の交換は、お求めの取扱店または
LIXIL修理受付センターにご依頼ください。

フリーダイヤル **0120-179-411**

LIXIL修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は
“技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

摩耗劣化する部品交換のお願い

●部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
●摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
　例）逆止弁、ハンドル、シャワーヘッド、シャワーホース、バルブ部（シングルレバーカートリッジなど）、電装品（電磁弁、センサーなど）、パッキンなど
●部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。
　製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。
　※保証期間外の各部品交換は、有料になります。



定期的な点検・部品交換のめやす

使用年

1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 11 / 12

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消耗部品の交換

摩耗劣化部品の交換（逆止弁は3年～5年）

買換えご検討

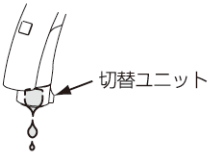
修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。
※確認箇所名称については「各部の名称」(P9)を参照してください。

現　象	確　認　内　容	処　置　方　法	参　照 ページ
吐水しない	止水栓は開いていますか？	止水栓を開く。	11
	コンセントに電気がきていますか？	ブレーカーを確認する。 （停電時の使用方法は18ページを参照してください。）	18
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込む。	10
	断水中ではありませんか？	回復するまで待つ。	−
	コネクターは確実に差し込まれていますか？	コネクターを確実に差し込む。	施工説明書
	センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴が付いていませんか？	柔らかい布でふきとる。	22
	ストレーナーのゴミ詰まりはありませんか？	ゴミを取り除く。	23
	自動センサーON/OFFスイッチが赤色点滅していませんか？（自動センサーの場合）	レバーハンドルを水側にし、タッチレス湯水センサーで水を吐水する。	13
	ハンドシャワーが吐水パイプに挿さっていますか？（自動センサーの場合）	ハンドシャワーを吐水パイプにしっかり挿します。	17
	自動センサーON/OFFスイッチはONになっていますか？（自動センサーの場合）	自動センサーON/OFFスイッチをONにする。	12
	自動センサーの感知エリア内に障害物がありませんか？（自動センサーの場合）	障害物を移動する。	13
	レバーハンドルが閉じていませんか？	レバーハンドルを開ける。	10
流量が少ない	止水栓を絞りすぎていませんか？	適切な流量になるまで止水栓を開く。	11
	吐水口やストレーナーにゴミが付着していませんか？	ゴミを取り除く。	23,24 29,30
湯水の流量が少ない	レバーハンドルを絞りすぎていませんか？	レバーハンドルを上げる。	15
	能力切替付の給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力設定は適正ですか？	能力設定を適正にセットする。	10
タッチレスセンサーがすぐ止まる	タッチレスセンサーに3秒以上手をかざし続けていませんか？（タッチレスセンサーの場合）	水が出たら手をセンサーから引く。	14
出たり止まったりを繰り返す（勝手に出る）	センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴が付いていませんか？	柔らかい布でふきとる。	22
	自動センサーの先に留め水や鏡面物がありませんか？	鏡面物を移動する。または、自動センサーON/OFFスイッチをOFFにする。	12

現　象	確　認　内　容	処　置　方　法	参　照 ページ
止水しない	センサーの感知範囲内に障害物はありませんか?	障害物を取り除く。	13
	センサーの表面が汚れていたり、洗剤の泡や水滴が付いていませんか？	柔らかい布でふきとる。	22
湯水が止水しない	手動弁が開いていませんか？	手動弁を閉じる。(左いっぱいに回す)	18
希望の温度の湯が出ない	止水栓を絞りすぎていませんか？	適切な流量になるまで止水栓を開く。	11
	吐水口やストレーナーにゴミが付着していませんか？	ゴミを取り除く。	23,24 29,30
	給湯器から十分な温度のお湯がきていますか？	給湯器の温度設定を確かめる。	−
ラジオにノイズが入る	水栓のすぐ近くに置いていませんか？	ラジオを水栓から遠ざける。	−
自動センサーON/OFFスイッチが青色点滅する	タッチレスセンサーに約6秒以上続けて何かをかざしませんでしたか?	しばらく（30秒ほど）センサーに何もかざさないでください。 設定モード（自動センサーON/OFFスイッチが黄色点滅）から自動復帰します。	19
タッチレスセンサーあるいは自動センサーON/OFFスイッチのルミナスサインが白色点滅する	コントロールボックスにコネクタが確実に差し込まれていますか?	コネクタを確実に差し込む。接続されている場合は、水温測定部または水温表示部が故障した可能性があります。 ※LIXIL修理受付センターへご連絡ください。	施工説明書
自動センサーON/OFFスイッチが黄色点滅する	自動センサーの検知エリアに障害物がありませんか?	障害物を取り除く	13
自動センサーON/OFFスイッチが重い	自動センサーON/OFFスイッチに汚れがたまっていませんか？	汚れを取り除く	24

●水を止めた後に少しのあいだ水が垂れる･･･
切替ユニットの内部に溜まった少量の水が排出されるためで、故障ではありません。



●使用していないのに、水がポタポタと数滴垂れる…
内蔵の圧力逃がし弁（※）が作動したためで、故障ではありません。
※圧力逃がし弁とは、他所の水栓や洗濯機などの使用時に起こる急激な圧力上昇から水栓を保護するための弁で、作動すると吐水口から数滴の水が垂れることがあります。

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、レバーハンドルまたは止水栓を閉じ、コンセントから電源プラグを抜き、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。　TEL 0120-179-411　FAX 0120-179-456

流量が少ないときは?

ストレーナーの掃除

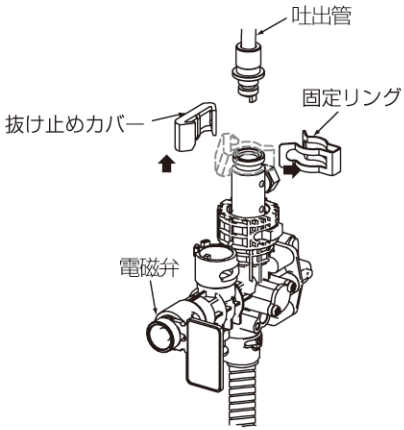
流量が少なくなった場合は、ストレーナーのゴミ詰まりが考えられるため、LIXIL修理受付センターへご連絡いただき、次の要領で掃除をしてもらってください。(有料になります。)

1 止水栓を閉じる。(右いっぱいに回す)

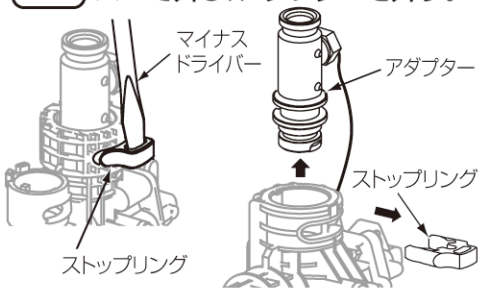
ポイント

止水確認および圧抜きのためレバーハンドルを開け、一度センサーに手をかざしてみる。

2 電磁弁の抜け止めカバーと固定リングを外し、吐出管からバルブを外す。
※洗面器などで排出される水を受けてください。

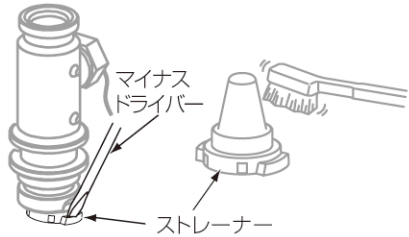


3 ストップリングをマイナスドライバーで外し、アダプターを外す。

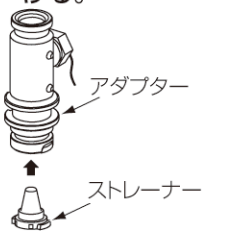


注意 アダプターを外す際、アダプターから出ているコードが引っ張られないようにしてください。

4 ストレーナーをマイナスドライバーで外し、ゴミを歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とす。

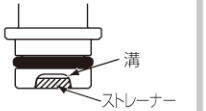


5 ストレーナーをアダプターに取り付ける。



ポイント

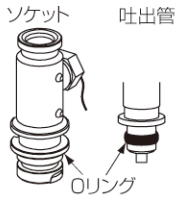
アダプターの溝にストレーナーをしっかりとはめ込む。



6 アダプターを電磁弁に取り付け、ストップリングを取り付け、吐出管に接続する。

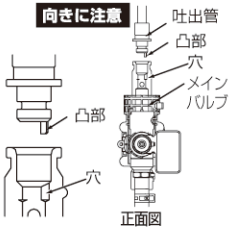
注 意

- アダプターを取り付ける際、および吐出管に接続する際、Oリングに傷をつけたり、ゴミかみがないように注意してください。
- ※漏水の原因になります。



ポイント

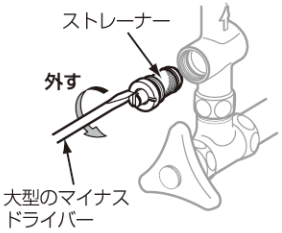
吐出管の凸部とメインバルブ側の穴位置に合わせてください。



寒冷地仕様の場合

1 水側（湯側）の止水栓を右いっぱいに回して閉じる。

2 ストレーナーを取り外し、ゴミを歯ブラシ等で洗剤を使わずに洗い流す。



3 ストレーナーを取り付ける。

アフターサービスについて

1.修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P31)を参照して確認する。

⚠ 警 告

(分解禁止)

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※発火、感電したり、異常作動してケガをすることがあります。

2.保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3.修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

- ●修理に際しては、保証書をご提示ください。
- ●保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

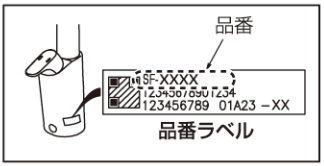
- ●修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- ●"技術料"＋"出張料"＋"部品代"で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(商品に表示、右図参照)
4. 購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日



4.部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5.アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店、または LIXIL修理受付センター に連絡してください。

LIXIL修理受付センターまで（ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/support/ ）

TEL 0120-179-411　受付時間 9:00～20:00　365日受付
FAX 0120-179-456

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは》

お客さま相談センターまで　受付時間　平日　9:00～18:00
TEL 0120-179-400　土日・祝日　9:00～17:00
FAX 0120-179-430　（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

（携帯電話・PHS・IP電話などからフリーダイヤルがご利用できない場合）
TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

仕様

	SF-NB481SX型	SF-NB481SXN型
	一般地仕様	寒冷地仕様
電源	AC 100V　50 / 60 Hz	
消費電力	常時：0.8W以下、作動時：2.5W以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水（※1）	
給湯器設定温度	85℃以下	
使用環境温度	0～40℃（※2）	−20～40℃（※2）
感知距離	タッチレスセンサー	約40mm
	自動センサー	130mm（ロングモード：150mm）、吐水中200mm
感知エリア幅	タッチレスセンサー	約φ5mm
	自動センサー	φ10mm以下
電源コード長さ	1170mm	
給水(給湯)接続	G 1/2	
圧力条件	水栓単品の場合	0.06MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧) (常用使用圧0.06～0.35MPa) 給水圧力≧給湯圧力
	キッチンくるりんと接続の場合	0.07MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧) (常用使用圧0.06～0.35MPa) 給水圧力≧給湯圧力
高温止水機能 (自動センサー)	本製品は、安全のため自動センサーでは50℃以上のお湯が出ないように設定されています。高温のお湯をご使用の場合は、タッチレス湯水センサーをご使用ください。	

※1：飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。
※2：ただし、内部の水を凍結させないでください。

MEMO

MEMO

LIXIL

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：キッチン用ハンズフリー水栓　（品番：　　）			
保証期間	取付日より　2ヶ年	取付日	年　月　日
お客さま	おなまえ　　様	取扱店名	
	おところ		
	おでんわ（　　）	TEL（　）　－	

無効

お客様へ

・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1. [取扱説明書]・[ラベル]などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたは LIXIL修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   (1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
   (2) 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
   (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
   (4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
   (5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
   (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
   (7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
   (8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
   (9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷・地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合よる故障及び損傷
   (10) 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
   (11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
   (12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
   (13) 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
   (14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
   (15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
   (16) ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
   (17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
   (18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ケ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで
TEL 0120−179−400
FAX 0120−179−430
携帯電話・PHS・IP電話などからフリーダイヤルがご利用できない場合
TEL 0562−40−4050
FAX 0562−40−4053
受付時間：平日　9:00〜18:00
土日・祝日　9:00〜17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで
TEL 0120−179−411
FAX 0120−179−456
受付時間：9:00〜20:00（365日受付）

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

GMS-1873（15031）